

首下がり，腰曲がり，そして難治性の痛み： そのメカニズムと治療

昭和大学 医学部 整形外科科学講座 教授、昭和大学病院 脊椎外科センター長
豊根 知明

【key words】腰痛、椎間板ヘルニア、脊柱管狭窄症、首下がり・腰曲がり、椎間孔狭窄症

【Abstract】

腰痛患者数は全世界で6億3200万人(2012年 Lancet)、日本では約1,000万人で、国民の愁訴の第1位です。また、高齢者の総人口に占める割合を比較すると、日本(28%)は世界で最も高く、次いでイタリア(23%)、ドイツ(21%)となっています。日本の女性の高齢者が初めて2000万人を超えましたが、女性の人口に占める高齢者の割合(31%)は、世界の女性の人口に占める高齢者の割合(10%)の3倍以上となっています。そのためでしょうか、脊椎の病気も様変わりしている印象です。椎間板ヘルニアや脊柱管狭窄症から、首下がり・腰曲がり・椎間孔狭窄症も加わり、重度の骨粗鬆症が外科的治療に立ちはだかります。この講演では、こうした疾患の診断・病態・治療、そして予防について、紐解いてゆきたいと思います。